

あぶくま えんげい王国

巨理普及センターだより

No. 155

令和8年
2月20発行

県オリジナル品種
もういっこ



みやぎ園芸振興大賞表彰で大賞受賞！

株式会社一苺一笑 代表取締役 佐藤拓実さんにインタビュー（4頁）

令和7年度プロジェクト課題 活動報告

気候変動に対応したいちご栽培管理技術の再構築

(令和6～7年度)

近年夏季の高温により、いちご開花の遅延や不揃いが生じることが多くなっています。また、これまでと異なる害虫や病害の発生が見られ、対策に苦慮するようになってきました。このような気候変動下においても、産地として、安定生産できるいちごの栽培技術が求められています。

昨年度から、若手担い手を対象として、いちごの親株や育苗期間の施肥、花芽分化後定植の励行、害虫の発生に対応した天敵等を活用した総合的病害虫防除の定着を図ってきました。

今年度の取組では、育苗期の適切な施肥管理により、最初の花房が前年より充実した果実になったことで、年内の収量が前年よりも増えました。

春先に向けての病害虫対策として、新たな天敵と防除を組み合わせ、年内のうちに丁寧に防除を行い、一部天敵を使用したことで、被害果の発生を抑制することができました。

今後も生産の安定と産地発展に向けて支援していきます。



▲株の観察と葉欠き作業を行う生産者

下余田Ⅱ期地区におけるほ場整備事業を契機とした営農体制の構築 (令和7～9年度)

名取市下余田Ⅱ期地区では、農地整備により水田を大区画化し、担い手に集積して作業の効率化を図ろうとしています。当普及センターでは、担い手となる新たな農業法人の設立に向けた準備や担い手部会活動の充実に向けた支援を行ってきました。

法人化支援では、毎月の定例会で定款(案)や諸規程(案)について検討しました。その中で、法人名を「農事組合法人高柳ファーム」にすることが決まりました。また、JA仙台主催の農業法人等現地相談会や担い手部会視察研修会の開催を支援し、組織運営や経理について学ぶ機会を提供しました。

担い手部会活動支援では、ほ場整備後に高収益作物(えだまめ)が安定生産できるよう、担当生産者の協力を得ながら、実証ほを設置し、品種比較や生育、収量等調査及び機械作業ロスを調査しました。また、担い手部会活動を地権者や現耕作者に知ってもらうための「担い手部会だより」の作成を支援しました。

次年度は、えだまめの効率的栽培や法人設立などを支援していきます。



▲視察研修会

土地利用型法人における組織運営の安定化に向けた担い手育成 (令和7～8年度)

農事組合法人林ライスは、東日本大震災の津波被害からの復興と生産再開を目的に設立されて以来、岩沼市の中核的農業法人として地域農業の維持・発展を牽引しています。

しかし、地域の共通の課題である担い手不足や高齢化は、当法人にとっても喫緊の課題であることから、法人の安定的な運営を目的とした中期経営計画の作成と、若手社員のキャリア形成を目的とした研修会等を実施することで組織体制の強化を支援してきました。

社会保険労務士を講師に労務管理研修会や若手社員のキャリア形成を目的とした「ハイドリーム・ロードリーム研修会」等を全6回開催するなどの支援により、役員と社員の円滑なコミュニケーションが図られ、若手社員4人が、令和8年度の作付計画を作成するなどの改善に至りました。これらは、若手社員の力を引き出すことに貢献したほか、労働力の削減を踏まえた新たな品目の提案も積極的に行われたので、今後の若手社員の取組が大いに期待されます。



▲労務管理について情報を共有

トピックス

みやぎ農業未来塾 「新規就農者のための経営レジリエンス向上セミナー」開催

1月30日、当普及センターで第4回みやぎ農業未来塾「新規就農者のための経営レジリエンス向上セミナー」を開催しました。

第一部では、講師に本県指導農業士であり株式会社一苺一笑代表取締役の佐藤拓実氏を迎え、「先輩農業者が語る、被災と復旧の現実」をテーマに御講演いただきました。東日本大震災での甚大な被害を乗り越え、現在は2拠点化による地理的なリスク分散や、販路の多角化による販売リスク分散といったBCP(事業継続計画)の取組を通じた経営の維持・拡大についてお話いただきました。

第二部では、宮城県農業共済組合の担当者より、園芸施設共済や収入保険制度について説明いただきました。具体的な補償内容や共済金が支払われた事例を学ぶことで、保険の重要性を再確認し、リスク管理の実践的な知識を深める貴重な機会となりました。

参加者からは「佐藤氏の人とのつながりや人材育成を重視する取組がとても参考になった」、「収入保険の必要性が理解でき、ぜひ相談したい」といった前向きな声が多く寄せられました。

今後も普及センターは、地域の農業者が不測の事態に動じず、安心して持続的な経営を続けていけるよう支援してまいります。



▲(株)一苺一笑の歩みを語る佐藤拓実氏

八巻静氏、「令和7年度宮城県農業・農村女性活躍表彰 (女性優良ビジネス部門)」で最優秀賞を受賞

令和8年1月20日に開催された「2026 農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会」において宮城県農業・農村女性活躍表彰の授賞式が行われ、岩沼市の八巻静氏が女性優良ビジネス部門で最優秀賞を受賞されました。

この賞は、宮城県が、農業・農村において社会参画や起業等で活躍する女性の個人やグループ等を表彰するものです。

八巻氏は、有限会社やさい工房八巻の専務取締役としてトマト部門と経理部門の責任者を務め、女性の視点で働きやすい環境作りに努めるとともに、仕事の効率化や新しい技術の習得、収益性向上など他の模範となっている点や宮城県指導農業士を長年にわたり務め、その豊富な経験と知識を地域農業の振興に還元している点が高く評価されました。

今後も農業の活性化及び女性の社会参画に向けて活躍されることを期待しています。



▲石川農政部長(左)、八巻氏(中央)、佐々木県議会議長(右)

宮城県農業士に認定されました

令和7年度宮城県農業士認定式において、亘理名取地区から岩沼市の寒風澤宗俊さんと山元町の鈴木康司さんが、新たに指導農業士に認定されました。

寒風澤宗俊さんは、岩沼市で環境制御技術を駆使した施設きゅうりの農業経営を展開しています。鈴木康司さんは山元町でいちごの大規模経営を行っており、環境に配慮した持続可能な農業経営の実践と経営の安定化に努めています。

今後、一層の活躍が期待されています。



▲寒風澤 宗俊 氏



▲鈴木 康司 氏

農薬の使用前にラベルを確認しましょう！

所長
インタビュー

「環境配慮型のいちご生産を深化させ、次世代に良い環境を引き継ぎたい」

〈表紙写真〉 株式会社一莓一笑（山元町）代表取締役 佐藤拓実 さん

第7回みやぎ園芸振興大賞表彰で大賞を受賞された株式会社一莓一笑（山元町）代表取締役の佐藤拓実さんに、亘理農業改良普及センター駒井真理子所長がお話を伺いました。

所長：みやぎ園芸振興大賞表彰の大賞受賞おめでとうございます。貴社の取組の中で、「みどり認定」^(*)を令和6年3月に取得されていますが、きっかけは何だったのですか？



佐藤さん：もともとの取組が認定の内容に合致していました。将来的に環境にやさしい農業を目指しており、環境保全に関心がありました。今後、補助事業を活用する上でも必要になるので、初期段階で取得しておいた方が良いと考えました。

所長：いちご栽培で環境制御技術を効果的に使い、化学肥料・農薬を節減している人は、「みどり認定」の要件を満たすことができます。施設園芸（いちご）で最初に取得していただいて県としてありがたかったです。「みえるらべる」^(*)の取組もありますね。



佐藤さん：環境配慮型生産の取組の深化ととらえています。環境配慮型生産を正しく評価し、「みえるらべる」を通じてお客様に視覚的に伝える仕組みを作ることを目指し、最高評価の☆3つを取得しました。

所長：いちごの輸出にも取り組まれていますね。

佐藤さん：令和6年産（令和5年11月～）いちごから香港、シンガポール、タイの輸出に取り組み始め、令和7年産から台湾向けを開始しています。いちごの輸出は当たり前になると考えて、みんながやらないところへ出していきます。松森農場^(*)に來ている台湾のお客様が多いことも台湾への輸出に取り組むきっかけになっています。

所長：今後の展望をお聞かせください。

佐藤さん：持続可能な農業と地域に貢献するいちごづくりを進め、次世代に良い環境を引き継いでいきたいと考えています。

(*) みどり認定：環境負荷低減事業活動実施計画等に係る認定。

(*) みえるらべる：環境負荷低減の見える化。温室効果ガス削減や生物多様性保全に取り組む農業者の努力を星の数で表示する取組。

(*) 松森農場：仙台市泉区松森でいちごの摘み取り農園を行っている。

令和7年度 宮城県農林産物品評会(果実・りんご部門)・花き品評会の受賞者報告

令和7年10月17日～19日に花き品評会、11月27日～28日に農林産物品評会（果実・りんご部門）が開催され、当普及センター管内では下記の方が入賞しました。おめでとうございます。また、品評会に御協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

◇宮城県花き品評会

No.	品目名	品種名	市町村	氏名(敬称略)	受賞
①	ストレリチア	—	名取市	丹野 司	宮城県花と緑普及促進協議会会長賞(金賞第二席) 農林水産省農産局長賞
②	ひまわり	サンリッチマロン	名取市	丹野真知子	宮城県花と緑普及促進協議会会長賞(金賞) 仙台市長賞 株式会社仙花代表取締役社長賞
③	トルコギキョウ	セレブリッチホワイト	名取市	前野 弘美	宮城県花と緑普及促進協議会会長賞(銀賞)
④	トルコギキョウ	エレガンスグリーン	名取市	針生 定義	宮城県花と緑普及促進協議会会長賞(銀賞)
⑤	カーネーション	タイソン	名取市	丹野 司	宮城県花と緑普及促進協議会会長賞(銀賞)

◇宮城県農林産物品評会（果実・りんご部門）

No.	品種名	市町村	氏名(敬称略)	受賞
①	ふじ	亘理町	齋藤 勝市	宮城県知事賞(2等)
②	シナノゴールド	亘理町	片平 洋之	宮城県園芸協会会長理事賞

発行 宮城県亘理農業改良普及センター 〒989-2301 亘理郡亘理町逢隈中泉字本木9

電話：0223-34-1141 FAX：0223-34-1143

E-mail：wrnokai@pref.miyagi.lg.jp

https://www.pref.miyagi.jp/site/wrnk/

ホームページはこちらから →

(普及活動紹介ブログもこちらからご覧になれます)

